

お客様各位

富士通エフ・オー・エム株式会社

基本情報技術者試験 平成 23 年度特別試験の出題傾向分析について

日頃は、FOM 出版をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

7月10日(日)に実施されました基本情報技術者試験・平成23年度特別試験の出題傾向を分析いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 午前問題の出題傾向

今回の「特別試験」のカテゴリ別、問題形式別の出題傾向は次のとおりです。

※参考までに平成22年度の数値も記載しています。

●カテゴリ別

カテゴリ	大分類	出題数		
		H22 春	H22 秋	H23 特
テクノロジー系	基礎理論	7 問	7 問	9 問
	コンピュータシステム	20 問	19 問	18 問
	技術要素	17 問	19 問	17 問
	開発技術	6 問	5 問	6 問
テクノロジー系小計		50 問	50 問	50 問
マネジメント系	プロジェクトマネジメント	2 問	4 問	4 問
	サービスマネジメント	8 問	6 問	6 問
マネジメント系小計		10 問	10 問	10 問
ストラテジ系	システム戦略	7 問	6 問	4 問
	経営戦略	7 問	6 問	6 問
	企業と法務	6 問	8 問	10 問
ストラテジ系小計		20 問	20 問	20 問
全合計		80 問	80 問	80 問

●問題形式別

問題形式		出題数		
		H22 春	H22 秋	H23 特
用語	用語の説明や関連する用語を選択する問題	44 問(55.0%)	53 問(66.3%)	35 問(43.8%)
事例	具体的な事例に基づいて解答する問題	19 問(23.8%)	17 問(21.2%)	31 問(38.7%)
計算	数値や計算式を求める問題	17 問(21.2%)	10 問(12.5%)	14 問(17.5%)
合 計		80 問(100.0%)	80 問(100.0%)	80 問(100.0%)

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

2. 午後問題の出題テーマ

今回の「特別試験」の午後問題で出題された取り扱いテーマは次のとおりです。

※参考までに前回の秋期試験の出題テーマも記載しています。

午後試験の分野		選択 / 必須	出題テーマ	
			H22 秋	H23 特
コンピューターシステム	ハードウェア	7 問中 5 問 選択	液晶モニタ	機械語命令
	ソフトウェア		(出題なし)	CPU の割当て方式
	データベース		コールセンターの対応記録管理	トランザクション管理
	ネットワーク		CRC (巡回冗長検査)	ルータの経路制御テーブルの更新
情報セキュリティ			認証システム	(出題なし)
ソフトウェア設計			部品の棚卸金額計算	あて先作成プログラム
マネジメント	プロジェクトマネジメント		(出題なし)	EVM によるプロジェクトの進捗管理
	IT サービスマネジメント		IT サービスマネジメントにおける個人情報の保護	(出題なし)
ストラテジ	システム戦略		子会社の業績評価	(出題なし)
	経営・関連法規		(出題なし)	ゲーム理論を活用した出店戦略
データ構造及びアルゴリズム		必須	符号付き 2 進整数の乗算	組合せ
ソフトウェア開発	C	5 問中 1 問 選択	バスの到着待ち時間	劇場の空き座席の確認
	COBOL		有料自動車道路のインターチェンジ別売上と利用台数の集計	株式優待処理と株の保有傾向分析
	Java		電子会議システム	追加可能な文字列インタフェースの 2 種類の実装
	アセンブラ		ヒット列を逆転するプログラム	図形の回転
	表計算		チャンプーの価格弾力性分析	与信管理

※なお、問題の分析はあくまでも当社独自の判断によるものです。

3. 試験分析

新試験移行後、難易度は次のような推移となっています。

回数	試験	難易度	合格率
1 回目	H21 春	やや難しい	27.4%
2 回目	H21 秋	やや易しい	35.4%
3 回目	H22 春	1 回目と 2 回目の中間	22.2%
4 回目	H22 秋	3 回目と同程度	23.4%
5 回目	H23 特	やや難しい	未公開

【午前問題】

これまで同様、シラバス全体から幅広く出題されています。

前回試験に比べて、用語の問題が減り、応用力を必要とする事例や計算の問題が増えています。

かなり難しい計算問題も一部出題されており、受験者を手こずらせたと思われますが、全体的には前回試験と同程度の難易度です。

また、これまで同様、過去問題からも多く出題されていますので、過去問題対策は必須です。

【午後問題】

選択する分野により若干上下するが、全体的に前回試験よりやや難しくなっています。

段階的に丁寧に計算しなければならない問題(問 2、問 6)、これまでに出版されたことがない新傾向の問題(問 7)、アルゴリズムが把握しにくい問題(問題 8)など、難易度が高い問題が多く、時間内に対応するのは厳しいといえます。

表計算(問 9)は、その他のプログラムより問題文が非常に長くなっており、読解力が必要とされます。この傾向は前回試験と同様です。

以 上